

③信頼される学校づくりの推進

●地域に根差した学校づくり

学校と地域住民等がともに学校の運営に取り組むことができるよう、全ての学校で実践しているコミュニティ・スクールの取り組みを深化させ、引き続き「地域でどのような子どもたちを育てるのか」という目標やビジョンを共有し、地域住民が教育活動に参画できる体制づくりに取り組めます。

●教師の力量向上

白糠町教育研究所による研究発表会や校内研修等の充実を図り、実践的指導力や教師の専門性の向上に努めます。また、教職員が子どもたちに向き合うことのできる時間の確保に努め、生き生きと働くことのできる環境を整えます。

●地域全体で子どもを守り育てる体制づくりの推進

町の宝物である子どもたちが、安心して学べるよう、各家庭への入学支援金の支給と給食費無料化の取り組みを継続します。



公民館図書室から336冊の本を借りて「読書おもしろ帳」をいっぱいにした茶路小学校の塚田柁君。

もたちの豊かな感性を育む読書活動の啓発を推進していきます。

③文化芸術活動と郷土芸能の振興

●文化芸術活動の充実

文化芸術活動の新たな発表と鑑賞の場を提供し、活動の活性化を図ります。

●郷土芸能の伝承活動推進

各種団体の事業や活動への支援を継続するとともに、若手人材の発掘と育成を進め、白糠ならではの郷土芸能の保存・伝承の推進に努めます。

また、認定こども園による「アプローチカリキュラム」と小学校における「スタートカリキュラム」の連動により、幼児教育と学校教育の連携を深め、ゼロ歳児から義務教育段階終了時の15歳まで、一貫した教育の連続性を確保するための取り組みを進めていきます。

白糠高等学校への支援については、より一層の魅力化を進めるため、常に見直しを行うとともに、新たな取り組みとして、全国からの生徒募集と環境教育の導入により、高校3年間において環境保全の意義や大切さについてしっかりと学び、これからの地域の将来を支える人材を一人でも多く輩出するための取り組みを進めます。

同時に公営塾の取り組み内容の改善・充実を図り、生徒たちがキャリア形成の視点から人間関係形成・社会形成の能力や課題対応能力、キャリアプランニング能力などを身に付けることができるよう努めます。

3 社会教育の充実

町民一人一人が生涯にわたって

④スポーツ活動の振興

●生涯スポーツの充実

一人「1」スポーツを目指し、障がいのある人も健常者も一緒に活動できるスポーツなど、各種スポーツ教室の開催および情報提供を通じて、生きがいや楽しみとしての体力・健康づくりを推進していきます。

●競技スポーツの充実

競技力の向上を図るため、SEA（スポーツ国際交流員）を活用した町技スポーツの振興および、さまざまな種目についても、各種団体の活動や大会出場を支援するとともに、地域と学校との連携により子どもたちがスポーツに親しめるよう、スポーツ活動の推進と参加意欲の高揚に努めます。

⑤社会教育施設の整備・充実

●施設の長寿命化を図る 保全・管理

きめ細かな施設の点検や補修を行い、適切な維持管理に努めるとともに、各種計画に基づき施設の長寿命化を図っていきます。



白糠高等学校と掘削技術専門学校は連携協定を結び、環境を意識できる人材を育てていきます。

あらゆる機会と場で学びあい、教えあうことができる町を目指します。具体的には、教育行政スキームの実践プラン「生活いきいきプラン」および「親子にこにこプラン」に沿い、次の①～⑤の取り組みを推進していきます。

①豊かな心を育む生涯学習の推進

●まちぐるみ運動の推進

三愛運動のさらなる啓発活動に取り組むとともに、まちづくりにつながる学習機会の充実を図り、各種団体による活動の推進に努めます。

また、文化芸術活動の拠点を担っている社会福祉センターについて、施設の規模や機能など、改築に向けた構想を進めていきます。

●利用の活性化を図る 工夫・改善

多様なニーズに対応する文化施設の運営に努めるとともに、指定管理者との緊密な連携による各種大会の企画運営や、スポーツ施設の一層のサービス向上と利用拡大に努めます。

4 おわりに

誰がやっても立て直せないと言われるほどの経営危機に陥った日本航空を「JALフィロソフィ」を確立させ、見事に再建させるなど「経営の神様」と言われた稲盛和夫氏は、自身の著書の中で『能力を未来進行形で捉えることができるものが困難な仕事を成功へと導くことができる』という言葉を残しています。

今の自分ではできないかもしれないが将来の自分には必ずできると、現状の困難に屈服することなく、

●ボランティア活動の推進

ボランティア講師の発掘と活動の拡大に努め、コミュニティ・スクールやふるさと未来塾、白糠大学等での積極的な活用につなげていきます。

②社会教育活動の充実

●家庭の教育力を向上させる支援の充実

教育の原点は家庭教育であることを踏まえ、各種団体と連携した多様な学習機会の提供に努めるとともに、家庭・学校・地域が一体となった、子どもの生活リズムの向上に取り組んでいきます。

●青少年健全育成事業の推進

地域の人材・自然・文化・産業を生かした体験活動の充実を図るとともに、学社融合の実践による各種事業を展開します。

●読書機会の充実

読書おもしろ帳を町内全児童生徒に配付するなど、その利用促進を図るとともに、ふるさとブックスタートの拡充として3歳児に名前入り絵本をプレゼントし、子ど



昨年4月に着任したSEAのヘンドロさん（右）

挑戦する姿勢は、変化の激しい時代を生き抜く子どもたちに、ぜひとも身に付けさせたい姿勢です。子どもたちが未来を見据え、自分の可能性を信じ、一步一步着実に成長し続けることができるよう、私たち大人が一丸となって、教え、導き、ときには温かく静かに見守りながら支援に努めていくことが大切だと考えています。

◆掲載した町政執行方針、教育行政執行方針は、広報用に編集しています。原文は町ホームページまたは役場2階企画財政課（11番窓口）、庶務支所で見ることができます。